

すべてのあらかわの子どもたちに これからのグローバル社会をたくましく生き抜く力を

高度情報化や国際化の進展など社会の構造が急速にグローバル化をする中、学校教育を取り巻く環境も大きく変化しています。これからの荒川区を担い、日本で、そして世界で活躍する人材を育成していくために、「ICT教育」を、これからの学校教育で欠かせない課題として捉え、全国に先駆け「児童生徒一人1台のタブレットPC」を導入しました。

問合せ 教育委員会指導室 ☎内線3385

■ 授業での活用の様子

一人一人で



お手本の動画を見ながら、繰り返し学習出来ます。先生が作ったコンパスの作図動画を繰り返し見て、自分で作図を進めています。

ペアやグループでの学び合いで、コミュニケーションが広がっています。自分の考えをまとめ、話し合っって考えを深めています。



ペアで

カメラ機能、動画機能を使って、フォーム等の確認が出来ます。実技や実験でカメラを使って確認し、グループで話し合う学びが広がっています。



カメラで

グループで



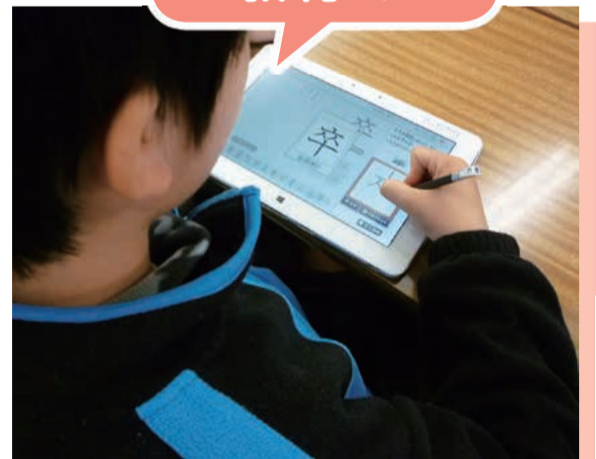
グループで協力して課題を解決する学習に取り組んでいます。互いの考えを取り入れ、新しい考えをつくり出しています。

発表で



タブレットPCと電子黒板を連動させ、自分の考えを電子黒板に映し出して発表しています。

特別支援
教育で



特別な支援を必要とする児童生徒にとっては、自分にあった教材を自分のペースで進めることが出来ます。自分で出来ることを広げるツールとなります。

展覧会で



展覧会では、メイキングの動画を活用して「ちびっ子学芸員」が来場者に作品の説明をしています。

■ 授業以外でも活用しています



教員研修で

教員も、授業の中でタブレットPCをどのように活用するか、定期的に研修に取り組んでイメージを膨らませています。